



**MFJ GP**  
**S U Z U K A**

**2013 45th MFJ GRAND PRIX**  
**SUPERBIKE RACE in SUZUKA**





公式プログラム

## 【イベント概要】

- イベント名：2013MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦  
第45回 MFJグランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿
- 日程：2013年11月2日(土) 公式予選・決勝レース  
3日(日) 決勝レース
- 主催：一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)  
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 公認：国際モーターサイクリズム連盟(FIM)  
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 後援：文部科学省/観光庁/三重県/鈴鹿市/  
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/  
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 開催レース：文部科学大臣杯全日本選手権 JSB1000クラス  
全日本選手権 ST600クラス  
全日本選手権 J-GP2クラス  
全日本選手権 J-GP3クラス  
CBR250R Dream CUP
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(2輪用:5.821km)
- 天候・動員：11月2日(土) 薄曇 18.3℃ 東南東の風1.1m/s 10,500人  
3日(日) 薄曇 19.7℃ 北北西の風0.3m/s 14,000人  
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表

## 【メディア概要】

- 取材者数：47媒体 90名
- テレビON AIR：BS12 TwellV  
11月11日(月) 20:00~20:54
- モータースポーツ：モータースポーツチャンネル  
総合情報携帯サイト (i-mode/SoftBank/Ezweb公式サイト ※一部有料)  
スマホ・携帯から、レースの順位&公式ラップタイム  
リアルタイムにチェック  
予選から決勝まで全クラス・全ライダーを完全サポート  
<http://motorsports.ch/promo1/index.php>
- 公式サイト：鈴鹿サーキット公式ウェブサイト  
<http://www.suzukacircuit.jp/>  
MFJスーパーバイク公式ファンサイト  
<http://www.superbike.jp/>



## SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

### JSB1000

#### 【レース1】

レース1は4番手から好スタートを決めた秋吉耕佑が先行。中須賀克行、柳川明、高橋巧、津田拓也を加えた5台による激戦となりましたが、レース終盤に集団を抜け出した中須賀が大きなリードを築いて優勝。2年連続チャンピオンへの大きな足掛かりを築きました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YAMAHA YZF-R1	BS
2位	柳川 明	TEAM GREEN	KAWASAKI ZX-10R	BS
3位	津田 拓也	ヨシムラスキレーシングチーム	SUZUKI GSX-R1000L3	BS



#### 【レース2】

レース2もリードする秋吉を各車が追う展開に。しかし、5周目の降雨による上位陣のペースダウンをついて渡辺一樹が一気にトップ浮上。それを猛追した中須賀がトップを奪回。そのままチェッカーを受け、本大会の完全勝利と2年連続4度目のチャンピオンを獲得しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YAMAHA YZF-R1	BS
2位	柳川 明	TEAM GREEN	KAWASAKI ZX-10R	BS
3位	渡辺 一樹	TEAM GREEN	KAWASAKI ZX-10R	BS



### ST600

ポールポジションスタートの中富真一が独走態勢を築くものの、レース中盤から猛チャージをかけた井筒仁康が中富をかかわしてトップに浮上。井筒が逃げ切り、このクラスでの初優勝を果たしました。2位に入った渡辺一馬がチャンピオンを獲得しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	KAWASAKI ZX-R6	PI
2位	渡辺 一馬	KoharaRacing	Honda CBR600RR	PI
3位	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDスズカ	YAMAHA YZF-R6	BS



### J-GP2

ポールポジションの野左根航汰を井筒仁康がかかわしてトップに立ったものの、彼らを追う4台が加わり、激しいトップ争いが展開。ところが、オープニングラップのミスで後退していた浦本修充が追いつき、トップに浮上。僅差で勝利をものにしました。チャンピオンは野左根が獲得しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	浦本 修充	MuSASHI RT ハルク・プロ	Honda HP6	BS
2位	岩田 悟	CLUB PLUSONE	Honda HP6	BS
3位	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	SUZUKI MFD6	BS



### J-GP3

ポイントリーダーの山田誓己と2位の國峰啄磨が、チェッカーの瞬間まで激しい戦いを演じ、130Rで國峰の先行を許した山田がその先のシケインで逆転。直接対決を見事な走りで見事にチャンピオンを手中にしました。引退レースとなった仲城英幸選手は、みごと4位に入賞しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	山田 誓己	TEAM PLUS ONE & ENDURANCE	Honda NSF250R	BS
2位	國峰 啄磨	Projectμ7C HARC	TSR TSR3	DL
3位	大久 保光	HotRacing	Honda NSF250R	DL



※詳しいリザルト・レポートは下記をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/>

MFJスーパーバイク公式ファンサイト <http://www.superbike.jp/>

※BS…ブリヂストン DL…ダンロップ PI…ピレリ

## SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



Hondaブースで行われた豪華賞品が当たる抽選会。  
抽選番号が読み上げられるたびに大きな歓声が上がっていました。



YAMAHAブースで行われたじゃけん大会。  
豪華賞品をかけて「最初はY!」の掛け声で。



ニューモデルの搭乗体験が行われたSUZUKIブース。



KAWASAKIブースにはJSB1000クラスレース1を終えたばかりの  
柳川明選手と渡辺一樹選手が来訪、レース2に向けての抱負などを  
語りました。



ピットビル2階ホスピタリティラウンジご利用のお客さまを対象とした  
JSB1000クラスポイントランキングトップ3のサイン会。  
手前から高橋巧、柳川明、中須賀克行の各選手。



パドックエリアご入場のお客さまを対象にピットビル2階ホスピタリ  
ティラウンジで開催された「キャンペーンガールフォトセッション」。

## PICK UP 1

全日本選手権GP125クラスで過去最多の5度のチャンピオンを獲得するなど、国内外で活躍した仲城英幸選手の引退セレモニーが行われ、往年のGP125マシンでデモランを実施。ライダーやファンの温かい声援を受けました。





レース運営の中核、コントロールタワーなどが見学できる「バックヤードツアー」(コチラレーシングファンクラブ、コチラちゃんファンクラブ会員限定 先着順)が行われました。



JSB1000クラスの記者会見をご覧いただけるプレミアムな体験ツアー(コチラレーシングファンクラブ、コチラちゃんファンクラブ会員限定抽選)が行われました。



楽しいダンスを織り交ぜながら、モータースポーツの知識を楽しく学んでいただいた「コチラレーシング モータースポーツハロータイム」(GPスクエア)。



ゆうえんち内モビステージで行われた楽しいショー「プートのハロウィンパーティー」。

## PICK UP 2

ペダルなし2輪車ストライダー。11月16日(土)・17日(日)の「STRIDER-1 SUZUKA GP 2013」の体験コースがGPスクエアに登場、模擬レースも行われ、大勢の子もたちがチャレンジしました。さらにトップ2輪チームとコラボしたスペシャルストライダーも展示(右)されました。



## PICK UP 3

ゆうえんちモトビアのアトラクション「ツーリングバイク」を使ってタイムアタック! 予選タイム上位10名が決勝ヒートに進出。上位10名でNo.1決定戦を行いました。表彰式には藤原克昭選手がプレゼンターとして登場のサプライズ!(レーシングシアター前広場)



## SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



国際レーシングコースフルコースをご自身のバイク(100cc以上)で走行できる「サーキットクルージング」。従来の1回から4回に開催数を拡大しました。



レーシングコースにほど近い交通教育センター内に設置された2輪専用駐車場。無料をご利用いただきました。



JSBレース2終了後にはコース上を開放し、表彰式を間近にご覧いただきました。



全4クラスのチャンピオンが一堂に会して行われたフォトセッション。報道陣だけでなく、一般のお客さまにも豪華ショットのチャンスをご提供しました。

**PICK UP 4** 決勝レース直前には各メーカー応援席をトップライダーが訪問しました。



Honda応援席を訪れた秋吉耕佑選手(左)、高橋巧選手。



KAWASAKI応援席を訪れた柳川明選手(左)、渡辺一樹選手。

**PICK UP 5** 3日(日)の全スケジュール終了後、ビットビル2階ホスピタリティラウンジでファンとライダーの集い「シーズンエンドパーティー」が開催され、リラックスムードの中、ゲストライダーとファンの触れ合いやトーク、抽選会などでシーズンを締めくくりました。



【PRブース等ご出展各社】



株式会社カワサキモーターズジャパン【PR】  
 スズキ株式会社【PR】  
 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン【PR・販売】  
 ヤマハ発動機株式会社【PR・販売】

【サーキットビジョンご協賛各社】



株式会社ブリヂストン  
 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

【応援席ご利用各社】



株式会社カワサキモーターズジャパン      株式会社ホンダモーターサイクルジャパン      ヤマハ発動機株式会社

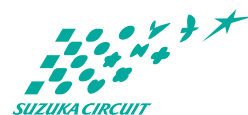
【公式プログラムご協賛各社】



株式会社アドフロンテ  
 株式会社アライヘルメット  
 株式会社カワサキモーターズジャパン  
 株式会社三栄書房  
 住友ゴム工業株式会社  
 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会  
 株式会社ブリヂストン  
 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン  
 ヤマハ発動機販売株式会社

A4 カラー 48p 9,000部発行

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている  
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2013年7月1日現在